

食品に潜む危険性

食品は命の源で体を健康に保つもの。しかし同時に、人の健康に悪さをするおそれもあります。

たとえば…

食べた食品が原因で嘔吐や下痢など健康を害してしまった。

食べた食品にガラスや金属片などの異物が入っていたため、口の中を怪我してしまった。

洗剤や殺虫剤などの化学物質が食品に入り、それを食べて健康を害してしまった。



最悪の場合は後遺症が残ったり、死に至ることさえあります。

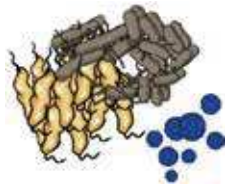
安全で、安心できる食品を提供するために、まずは人に悪さをするもの、その原因をおさらいしましょう。



人に害を及ぼす原因は3つ

原因
1

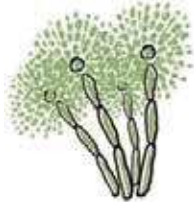
微生物



危険な菌・ウイルス



寄生虫など



カビなど

人に害を及ぼす量の微生物が食品に付いていると、それを食べた人は腹痛や嘔吐、下痢などの病気を発症する可能性があります。

※本編では、細菌やウイルス、寄生虫などを総称して微生物と表しています。

原因
2

化学物質



殺虫剤・殺鼠剤・除草剤



食用でない
機械油



塗料



アレルギー
物質



カビ毒



ヒスタミン



フグ毒・貝毒・
毒キノコ

洗剤や殺虫剤などの化学物質が食品に入ると事故が起きることがあります。

原因
3

異物(硬質なもの)



金属片・ネジ など

石



ガラス片・
プラスチック片

ガラスや金属片などの硬質異物が食品に混ざってしまうと、口の中を切ったり、のどを詰まらせたりする危険性があります。

